

平成 21 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 三 柴 元
 コード番号 3 8 5 7
 (大証ヘラクレス、ジャスダック)
 問 合 せ 先 取締役執行役員
 経営企画室長 白 石 通 紀
 電話：0 3 - 5 5 3 7 - 1 4 0 0

平成 21 年 3 月期連結業績予想の修正および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 10 日開催の取締役会において、平成 20 年 11 月 7 日付「平成 21 年 3 月期 第 2 四半期決算短信」にて公表いたしました平成 21 年 3 月期連結業績予想および配当予想を下記のとおり修正するとともに、役員報酬等を減額することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)
 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	40,500	1,700	1,503	606	22 円 74 銭
今 回 修 正 予 想 (B)	33,500	900	700	250	9 円 48 銭
増 減 額 (B-A)	△7,000	△800	△803	△356	—
増 減 率 (%)	△17.3	△47.1	△53.4	△58.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	21,899	1,771	1,705	897	33 円 00 銭

(2) 修正の理由

システムインテグレーション事業 (以下、S I S 事業という。) においてコストオーバーランが発生したこと、セキュリティソリューションサービス事業 (以下、S S S 事業という。) において人的先行投資が成果に繋がらなかったことなどの事業運営上の要因に加え、世界的な金融危機に端を発した景気後退による I T 化投資の延期・縮小などの影響を踏まえ、当期の業績予想を修正することといたしました。

①連結売上高

S I S 事業において、主要顧客であった人材派遣会社の廃業による影響や、一部請負案件への要員の追加投入による機会損失、金融機関向け W e b 系アプリケーション開発案件の減少などにより、売上高は 140 億円 (前回予想比 20 億円の減少) となる見込みであります。

S S S 事業では、教育関連サービスや緊急対応案件、官公庁向けサービスが好調であったほか、監視サービスの受注が堅調に推移したものの、大型構築案件の受注が見通しを下回ったこと、診断サービスの競争激化などにより、売上高は 50 億円 (同 10 億円の減少) となる見込み

であります。

ディーラー事業では、金融業界の業況悪化による受注の減少、特に主要顧客からの新規HW/SW導入案件の凍結などの影響により、売上高は145億円（同40億円の減少）となる見込みであります。

以上により、連結売上高は335億円（前回予想比70億円の減少）となる見込みであります。

②連結営業利益、連結経常利益、連結当期純利益

SIS事業では、外注費の削減や営業経費等の削減に努めたものの、売上の未達に加え一部請負案件のコストオーバーランなどにより、営業利益は12億30百万円となり当社予想を9億円下回る見通しであります。

SSS事業では、監視サービス用設備の投資時期の見極めをはじめ施設費関連の削減に努めたものの、売上の未達と構築サービス要員を中心に人的先行投資が成果に繋がらなかったことなどにより、営業利益は6億70百万円となり当社予想を2億80百万円下回る見通しであります。

ディーラー事業では、当初見込みののれん代の減少や、事業譲受後の要員再配置に伴う業務の効率化、コスト管理強化による経費削減に努めたため前回予想の営業損失1億60百万円が大幅に改善し、営業利益2億円となる見通しであります。

以上により、内部相殺ならびにホールディングス単体の業績を考慮した連結営業利益は9億円（前回予想比8億円の減少）、連結経常利益は7億円（同8億3百万円の減少）、連結当期純利益は2億50百万円（同3億56百万円の減少）となる見通しであります。

なお、当社個別業績につきましては、現時点の変更はございません。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
前回発表予想 (平成20年11月7日公表)	6円00銭	7円00銭	13円00銭
今回修正予想		3円00銭	9円00銭
当期実績	6円00銭		
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)		6円00銭	6円00銭

(2) 配当予想の修正理由

当社は、当社株式を長期的かつ安定的に保有していただくため、継続的に安定的な配当水準を維持することを配当政策の基本とし、中長期的な視点に立った投資やキャッシュ・フローの状況を勘案のうえ、利益配分を行ってまいります。目標とする指標はDOE（株主資本配当率）5%としております。

当期の期末配当予想金額につきましては1株当たり7円としておりましたが、通期業績予想の修正および株主資本などの減少見込みを踏まえ、また、当期純利益から想定される1株当たり利益9円48銭を考慮し、誠に遺憾ではありますが、3円00銭へと修正させていただきます。この場合の年間配当は9円となり、DOEは4%強になるものと推定しております。

なお、期末配当の実施は、平成21年6月開催予定の当社第2回定時株主総会における承認を前提といたします。

3. 役員報酬等の減額

当社は、今般の平成 21 年 3 月期連結業績予想の修正および期末配当予想の修正に至った事態を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため、以下のとおり、役員ならびに執行役員等幹部社員の報酬の減額を決議いたしました。

(1) 役員の報酬減額

代表取締役：平成 21 年 1 月から平成 21 年 6 月までの報酬額の 50%を減額

取締役：平成 21 年 1 月から平成 21 年 6 月までの報酬額の 45%を減額

(2) 執行役員等幹部社員の報酬減額

執行役員およびそれに準ずる幹部社員、子会社の取締役ならびに執行役員およびそれに準ずる幹部社員：

職責に応じ、平成 21 年 1 月から平成 21 年 6 月の報酬額の 35%を上限として減額

4. 現状の問題を踏まえた今後の施策

< S I S 事業 >

一部大型請負案件における多額のコストオーバーランが発生したことを踏まえ、改めてプロジェクトマネジメント力を強化するとともに、顧客のコスト抑制意識が一層強まるなか、付加価値の高いソリューションサービスの比重を高めてまいります。また、保険業界向けの業務改善コンサルとシステム開発やHW調達、セキュリティ関連サービスとの連携など、営業力と技術力を一層強化して顧客満足度の向上を目指してまいります。

< S S S 事業 >

人的先行投資を行ったセキュリティ新サービスが、当期において成果に繋がらなかったことを踏まえ、市場ニーズを捉えた戦略と体制に組みなおし、当社の強みである運用監視サービスおよび診断サービスに営業力を集中いたします。また、不採算サービスを整理するとともにその他サービスの収益構造を見直し、生産性の向上を図って成果実現を目指してまいります。

< ディーラー事業 >

金融不況のなか、主要顧客への営業体制を一新し信頼の向上を図るとともに、評価の高い S E の技術力を維持し、ディーラー事業でのシェアを拡大します。また、新たな市場での商流の開拓およびソリューションの提供を展開し、マーケットカバーレッジの拡大を図ってまいります。

< グループ全体 >

昨年 8 月よりディーラー事業を取り込み、グループ全体で 3 つのセグメントを柱とした事業を展開してまいりました。

この 3 つのセグメントの連携を一層強化し、シナジー効果を創出するべくホールディングス体制のもと、主要顧客に対する営業の一本化、提案の一本化を行うことにより一層の取り組み強化を図ってまいります。さらに、各事業の強みを最大限に活かしてまいります。

当社は、現状の問題を踏まえ、厳しい市場環境のなかで勝ち残るために、上記の施策に対し全社員一丸となって取り組み、経営基盤の強化と収益の拡大に努めてまいります。

以上

※業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。